

## 6-13 車両

### 事例 「エンジンルーム内のオルタネータから出火した火災」

出火時分 5月 16時ごろ  
用途等 軽乗用車  
被害状況 車両全焼 車両1台焼損  
概要

この火災は、時間貸し駐車場に駐車中の乗用車のエンジンルームから出火したものです。

出火原因は、オルタネータ内部に何らかの原因でオイルが混入し、スリップリングがブラシによって削られ、削られた銅粉が導体となり、スリップリングとカバーとの間でトラッキングが発生しブラシホルダに着火し出火したものです。

通行人が、駐車場に駐車している車両から煙が出ているのを発見し、当該車両内で仮眠をとっていた運転手に知らせました。知らせを受けた運転手は、目を覚まし車外に出ると、エンジンルームから白煙が出ていたので、自分の携帯電話で119番通報しました。

#### 教訓等

出火した車両は、平成16年式の乗用車で、出火する4か月前に運転手が勤務する会社が中古で購入したもので、4か月の間は特に異常もなく、通勤と仕事で使用していました。

中古車は、前所有者の使用状態や整備履歴を完全に確認することが困難であることから、法定点検のみならず、日常からこまめに点検整備を実施するなど維持管理を徹底し、少しでも異常を感じたら車両を使用せず、専門業者に点検や修理を依頼しましょう。

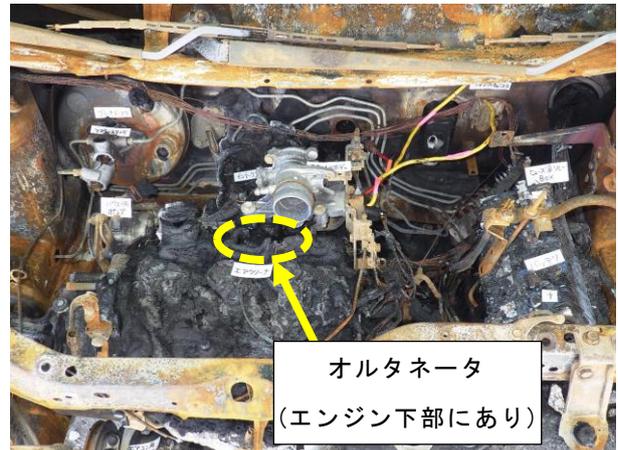


写真 6-13-1 エンジンルーム内の焼損状況



写真 6-13-2 オルタネータの焼損状況

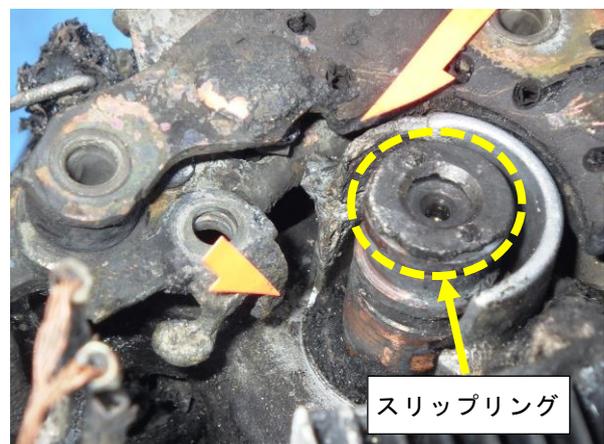


写真 6-13-3 オルタネータの拡大状況